

会社を田舎へ移す！

そこには、『便利』より『大切なもの』があった。

# 波乗り オフィス ようこそ

ちいさな町に奇跡を起こした、  
日本一にぎやかな過疎地の  
再生と感動の物語。



関口知宏

宇崎竜童

柏原収史 田中幸太朗 伊藤祐輝 宮川一朗太 岩崎加根子  
眞嶋優 大内田悠平 上田結 三木くるみ 野田久美子 石丸佐知

脚本・監督：明石知幸

製作：ボンコツ商会 / 企画協力：株式会社あわえ / 特別協賛：Arithmer / 特別協力：徳島県 美波町 / 協力：阿南市

プロデューサー：天野真弓 / ラインプロデューサー：中円尾直子 / 撮影：赤川修也 / 照明：浜本修次 / 録音：川本七平 / 装飾：陣野公彦 / 音楽：高木砂代子 / 編集：洲崎千恵子 / 整音：渡辺文彦 / 音響効果：佐藤祥子 / 助監督：村上秀晃  
スクリーンライター：押田智子 / 衣装：宮部幸 / ヘアメイク：根本佳枝 / 制作担当：金子拓也 / 原案本：講談社「本社は田舎に限る」吉田基晴 / 制作プロダクション：エリセカンパニー / 配給協力：ジャパン・スローシネマ・ネットワーク / 配給・宣伝：マジックアワー

2019年 / 日本映画 / 108分 / 5.1ch / DCP ©2019 ボンコツ商会



世界の旅から戻ってきた関口知宏が、日本の徳島県美波町で映画初主演！

# あなたは、今の生活に心が満たされていますか？

本作は、明日自分の身に起こるかもしれない、まさに今の日常の物語。

大都会の東京で会社を営んでいる社長が、地方の優秀な人材確保へ視点を変えた時、彼の人生に新しい風が舞い上がる。明石知幸監督が、本作の原案本の著者であり主人公のモデルである吉田基晴の開催する企業向けイベントで、徳島県にインターン研修に行った東京の女子大生の発表に興味を持ち、今起きている社会問題の中にある人間模様を実話を元に映画化。これは、私たちがよく目にし耳にする“地方創生”“働き方改革”という言葉、映画を観ることで体感できる作品なのです。「仕事だから」とあきらめていたことが実現できる生き方のヒントが見つかるかもしれません。



都会を離れ、美しい海とそこに暮らす人々に魅了された一人の男と仲間の心あたたまる生き方の物語

## 【あらすじ】

東京でセキュリティソフト会社を営む徳永（関口知宏）は、大企業に押しされ、エンジニアの採用ができず窮地に立たされていた。ある日、優秀な人材は、地方にもあるはずと思い立ち、故郷である徳島県美波町へ向かう。活気を失った町で沢田（田中幸太郎）と悪戦苦闘するが、地元の同級生の久米（柏原収史）や地元の起業家のとうさんこと岩佐（宇崎竜童）に助けられ、豊かな自然を武器にした秘策を打ち出し、何とか採用にこぎつける。更に、新事業を展開し、地方創生の旗手としてマスコミに取り上げられる。そんな徳永を煙たく思う住民もいるなか、地元の若者とトラブルを起こしてしまう。岩佐の助言により、徐々に地元を理解されてきた頃、徳永の会社の生田（伊藤祐輝）が町最大の秋祭りの責任者に抜擢される。果たして生田は、地元の人の期待に応え、祭りを成功させることができるのか？

そして、徳永の家族は移住を受け入れてくれるのか？



## 美波町

豊かな自然が与えてくれる様々な食べ物、ウミガメの産卵地として有名な、美しい海に囲まれた町。伝統ある祭りやトライアスロンの場としても知られる。近年、首都圏の企業のサテライトオフィスが増えている。



© 2019 ポンコツ商会

## 映画「波乗りオフィスへようこそ」上映会

- 会場／藍住町総合文化ホール 大ホール
- 入場料／一般 500円・高校生以下 無料(要整理券)
- 前売券販売所／●藍住町総合文化ホール ●藍住町立図書館

令和2年  
7/26日  
《2回上映》

《上映時間》  
第1回10:30～  
第2回14:00～

- 主催／藍住町教育委員会、藍住町芸術文化鑑賞事業実行委員会
- お問合せ／藍住町総合文化ホール(徳島県板野郡藍住町奥野字矢上前32-1) TEL:088-637-3344